

にいみなんきち に かえる
新美南吉 『二ひきの蛙』より

「二ひきの蛙に」をよみながら、
は・わ・が・を・お・へ・えのあうじをにのなかにかきましよう。

するとそのとき、寒い風さむかぜ）（ふいてきました。

二ひきの蛙には、もうすぐ冬のやってくることをかえる）（もいだしま

した。蛙かえるたちは土つちの中にもぐって寒い冬さむふゆ）（こさねばならないのです。

「春はるになったら、このけんかの勝負しょうぶをつける。」

といって、緑みどりの蛙かえるは土つちにもぐりました。

「いまいったこと）（わすれるな。」

といって、黄色きいろの蛙かえるももぐりこみました。

寒い冬さむふゆがやってきました。蛙かえるたちのもぐっている土つちの上に、びゅう

びゅうと北風きたかぜがふいたり、霜柱しもばしら）（立たったりしました。

そしてそれから、春はるがめぐってきました。

土つちの中にねむっていた蛙かえるたちは、せなかの上うえの土つちがあたたかくなってきたのでわかりました。

こたえ

するとそのとき、寒い風さむい かせ（が）が（ふいてきました。

にに二ひきの蛙かえるは、もうすぐ冬ふゆのやってくることを（お）お（もいだしま

した。蛙かえるたちは土つちの中なかにもぐって寒い冬さむい ふゆ（を）を（こさねばならない
のです。

はるはる「春はるになったら、このけんかの勝負しょうぶをつける。」

みどりみどり かねるかねる つちつち
とって、緑の蛙かえるは土つちにもぐりました。

「いまいったこと（を）を（わすれるな。」

きいろきいろ かねるかねる
とって、黄色の蛙かえるももぐりこみました。

さむいさむい ふゆふゆ かねるかねる つちつち うえうえ
寒い冬さむい ふゆがやってきました。蛙かえるたちのもぐっている土つちの上に、びゅう

きたかぜきたかぜ しもぼししもぼし たた
びゅうと北風きたかぜがふいたり、霜柱しもぼし（が）が（立たったりしました。

はるはる
そしてそれから、春はるがめぐってきました。

つちつち なかなか かねるかねる うえうえ つちつち
土つちの中にねむっていた蛙かえるたちは、せなかの上うえの土つちがあたたかくな
ってきたのでわかりました。